

## すでに刈取適期に入っています！ 遅れず、適期内に刈り終わらしましょう！

1. 刈取りは、ほ場ごとに登熟状況を総合的（青籾歩合、枝梗の黄化、籾水分等）に判断し、適期を判断しましょう！

本年は例年に比べて、ほ場間の登熟進度にバラつきが見られることや、一部に青籾歩合の低下が緩慢なものが見られるため注意が必要です。籾すりをを行い、玄米の状況を確認しましょう。

刈遅れにより、胴割粒や薄茶米が増える場合があります。品質確保のため、必ず適期内に刈り終わるようにしましょう。

表 出穂後積算気温による刈取り適期の目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	刈取適期 (出穂後積算気温)	刈り始めの 青籾歩合	出穂期 (本年)	刈取り時期の目安
はえぬき (平坦)	950 ~ 1,200	20%	8月4日	9月15日 ~ 9月29日
はえぬき (中山間)			8月7日	9月21日 ~ 10月8日
つや姫	1,000 ~ 1,200	15%	8月10日	9月26日 ~ 10月9日
コシヒカリ	1,000 ~ 1,200	15%	8月10日	9月26日 ~ 10月9日

2. 乾燥・調製は慎重に仕上げ、全量1等米に！

収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

乾燥は籾水分が20%以上の場合には毎時乾減率0.8%程度、20%以下の場合には毎時乾減率0.6%程度で行い、品質の低下を防ぎます。

良質米生産のために、1.90mm網目（LL）で選別します。

あせらず・きもまず・農作業

**毎日の農作業安全を徹底しましょう！**

県内の農作業時の死亡事故が、すでに10件を超えており、大変深刻な状況です。

秋の農作業事故ゼロを目指しましょう！



## 雑草イネの発生に注意！

雑草イネが発生している田んぼでは

早急に対策が必要です！

収穫した米に赤米が混ざっていませんか？

田んぼに出穂の様子が違うイネはありませんか？

穂を握るだけで朮が落ちてしまうイネはありませんか？

それは「雑草イネ」かもしれません。

雑草イネは古代米、赤米栽培品種とは違います。

発見が遅れ放置すると、3～4年で田んぼが

雑草イネだらけになってしまいます。



お米に赤米が混じっている様子

### 雑草イネの特徴



草丈、出穂の時期が違う



脱粒しやすい



芒が長い、赤い

雑草イネはさまざまな種類があります。芒が無く、栽培品種と見た目が変わらない種類もあります。

### 当面の対策

1. 雑草イネを見つけたら、根元から抜き取って処分します。  
(焼却等、抜き取った雑草イネは必ず適切に処分する。ほ場に放置しない。)
2. 拡散防止のため、機械作業を行う際には、雑草イネ発生ほ場を最後にする。
3. 次年度作付時には、雑草イネに効果のある除草剤の体系処理を行う。
4. 自家採種は行わない。

「雑草イネ」を見つけたらすぐに、近くのJAに相談してください。